

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-63749

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月6日

(51) Int.Cl.*	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F	19/00		G 0 6 F	15/24
	17/60		G 0 7 G	1/14
	17/30		G 0 6 F	15/21
G 0 7 G	1/14			15/40
				3 3 0
				3 1 0 F
				3 7 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数60 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平8-222854

(22) 出願日 平成8年(1996) 8月23日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 久保田 太栄

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72) 発明者 山寺 仁

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(72) 発明者 政次 茂貴

東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

株式会社日立製作所デザイン研究所内

(74) 代理人 弁理士 武 顯次郎

(54) 【発明の名称】 商品情報提示方法及びシステム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザが購入したい商品の詳細情報、その商品がどこで安く手に入れることができるかを検索可能として買物の支援を図る。

【解決手段】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を提供する。データベースは、サービスプロバイダが多数の販売店から提供されて管理される。利用者は、販売店名、商品ジャンル、特売品等をキーとしてデータベースをアクセスし、所望の商品の詳細情報、価格等をしり、買物に役立てることができる。また、通信販売で購入できる商品については、データベースへのアクセスの途中で購入を決定して申し込むことができる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法を入力するステップと、複数の店舗名を表示するステップと、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択するステップと、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示するステップとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項2】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項1記載の商品情報提示方法。

【請求項3】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するステップと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに有することを特徴とする請求項1または2記載の商品情報提示方法。

【請求項4】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項1、2または3記載の商品情報提示方法。

【請求項5】 前記店舗名を、前記店舗の位置を示す地図と共に表示することを特徴とする請求項1ないし4のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項6】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項1ないし5のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項7】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに店舗を選択して検索する方法を選択するステップと、複数の店舗名を表示するステップと、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択するステップと、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示するステップとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項8】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項8記載の商品情報提示方法。

【請求項9】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するステップと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに有することを特徴とする請求項7または8記載の商品情報提示方法。

【請求項10】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項7、8または9記

載の商品情報提示方法。

【請求項11】 前記店舗名を、前記店舗の位置を示す地図と共に表示することを特徴とする請求項7ないし10のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項12】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項7ないし11のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

10 【請求項13】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに商品名または商品種別を選択して検索する方法を選択するステップと、利用者が任意の商品名または商品種別を選択するステップと、選択された前記商品名または前記商品種別に関連した商品を表示するステップとを有し、前記商品を、それを取り扱う店舗名と共に表示し、前記商品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示すること特徴とする商品情報提供方法。

20 【請求項14】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項13記載の商品情報提示方法。

【請求項15】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するステップと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに有することを特徴とする請求項13または14記載の商品情報提示方法。

30 【請求項16】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項13、14または15記載の商品情報提示方法。

【請求項17】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項13ないし16のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

40 【請求項18】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択するステップと、特売品を取り扱う少なくとも1つの店舗名を表示するステップと、表示された前記店舗名から任意の店舗名を利用者が選択するステップと、選択された前記店舗において取り扱われる特売品を表示するステップとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

50 【請求項19】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項18記載の商品情報提示方

法。

【請求項20】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択するステップと、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに有することを特徴とする請求項18または19記載の商品情報提示方法。

【請求項21】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項18、19または20記載の商品情報提示方法。

【請求項22】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項18ないし21のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項23】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択するステップと、利用者が検索しようとする特売品の商品名または商品種別を選択するステップと、前記商品名または前記商品種別に関連した特売品を表示するステップとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項24】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項23記載の商品情報提示方法。

【請求項25】 前記特売品を、それを取り扱う店舗名と共に表示し、前記特売品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示することを特徴とする請求項23または24記載の商品情報提示方法。

【請求項26】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択するステップと、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに有する構成とを特徴とする請求項23、24または25記載の商品情報提示方法。

【請求項27】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項23ないし26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項28】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項23ないし27のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項29】 選択した商品とそれを取り扱う店舗とを一覧表として表示するステップをさらに有することを

特徴とする請求項3、9、15、20、26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項30】 選択した商品を取り扱う店舗の売場レイアウトを表示するステップをさらに有することを特徴とする請求項3、9、15、20、26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項31】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法を入力する検索方法入力手段と、複数の店舗名を表示する店舗名表示手段と、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示する商品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項32】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項31記載の商品情報提示システム。

【請求項33】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項31または32記載の商品情報提示システム。

【請求項34】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項31、32または33記載の商品情報提示システム。

【請求項35】 前記店舗名を前記店舗の位置を示す地図と共に表示する店舗位置表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項31ないし34のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項36】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項31ないし35のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項37】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに店舗を選択して検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、複数の店舗名を表示する店舗名表示手段と、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示する商品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項38】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項37記載の商品情報提示シ

テム。

【請求項39】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項37または38記載の商品情報提示システム。

【請求項40】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項37、38または39記載の商品情報提示システム。

【請求項41】 前記店舗名を前記店舗の位置を示す地図と共に表示する店舗位置表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項37ないし40のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項42】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項37ないし41のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項43】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに商品名または商品種別を選択して検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、利用者が任意の商品名または商品種別を選択する商品名・商品種別選択手段と、選択された前記商品名または前記商品種別に関連した商品を表示する商品表示手段と、前記商品をそれを取り扱う店舗名と共に表示し、前記商品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示する店舗名表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項44】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項43記載の商品情報提示システム。

【請求項45】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項43または44記載の商品情報提示システム。

【請求項46】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項43、44または45記載の商品情報提示システム。

【請求項47】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店

舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項43ないし46のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項48】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択することが可能な検索方法選択手段と、特売品を取り扱う少なくとも1つの店舗名を表示する店舗名表示手段と、表示された前記店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗において取り扱われている特売品を表示する特売品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項49】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項48記載の商品情報提示システム。

【請求項50】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択する特売品選択手段と、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項48または49記載の商品情報提示システム。

【請求項51】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項48、49または50記載の商品情報提示システム。

【請求項52】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項48ないし51のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項53】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、利用者が検索しようとする特売品の商品名または商品種別を選択する商品名・商品種別選択手段と、前記商品名または前記商品種別に関連した特売品を表示する特売品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項54】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項53記載の商品情報提示システム。

【請求項55】 前記特売品をそれを取り扱う店舗名と共に表示し、前記特売品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示する店舗名表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項53または54記載の

商品情報処理方法。

【請求項56】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するステップと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するステップとを有することを特徴とする請求項53、54または55記載の商品情報提示システム。

【請求項57】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択する特売品選択手段と、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項53ないし56のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項58】 無線通信モデムを使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項53ないし57のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項59】 選択した商品とそれを取り扱う店舗とを一覧表に表示する一覧表表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項33、39、45、50、57のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項60】 選択した商品を取り扱う店舗の売場レイアウトを表示する売場レイアウト表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項33、39、45、50、57のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品情報提示方法及びシステムに係り、特に、食料品、衣料品、日用品等の商品の価格情報等を電子化して簡単に検索可能とし、買物の支援を図るために使用して好適な商品情報提示方法及びシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、商品情報は、新聞の折り込み等により配布される販売店毎のチラシ等から得るのが一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前述のチラシにより商品情報を得る方法は、目的の品物の値ごろ感、どの店が一番安いか等を知るためには、多くの販売店毎のチラシを見て比較しなければならないために多くの手間を必要とし、また、チラシに掲載されていない品物については、売価が判らず、目的とする品物があるか否かも判らないという問題点を有している。また、チラシでは、品物の詳細について判らない点が多く、特売品等があっても、購入のために販売店に行くときに売り切れの場合も多いという問題点があり、さらに、初めての販売店の場合、店の場所、売場等が判りにくい場合が多いという問題点を有している。

【0004】買物リストを作成し、チラシから必要な品

物の値段、販売店を書き出すようにする方法もあるが、この方法は、たくさんの品物についてこれらを書き出すことが面倒であるという問題点を有している。

【0005】本発明の目的は、前述のチラシによる商品情報の提示の問題点を解決し、ネットワークを介して、インタラクティブな操作で、ユーザが購入したい商品の詳細情報、その商品がどこで安く手に入れることができるかを検索可能とし、販売店毎の品物の比較、価格の比較を容易に行うことができるようにして、買物の支援を図ることのできる商品情報提示方法及びシステムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明によれば前記目的は、電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法を入力するステップと、複数の店舗名を表示するステップと、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択するステップと、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示するステップとを備えることにより達成される。

【0007】前記目的は、表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するステップと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するステップとをさらに備え、また、前記店舗名を、前記店舗の位置を示す地図と共に表示するようにすることにより達成される。

【0008】前記目的は、前記商品情報の検索方法として、店舗を選択して検索する方法、商品種別を選択して検索する方法、特売品を選択して検索する方法の1つを選択可能とすることにより、さらに、特売品を選択して検索する方法が指定された場合、店舗を選択して検索する方法、商品種別を選択して検索する方法のいずれかを検索可能とすることにより達成される。

【0009】前記目的は、選択した商品とそれを取り扱う店舗とを一覧表として表示するステップを備え、また、選択した商品を取り扱う店舗の売場レイアウトを表示するステップを備えることにより達成される。

【0010】また、前記目的は、前述の各ステップの処理を実行する手段を備えることにより達成される。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明による商品情報提示方法及びシステムの実施形態を図面により詳細に説明する。

【0012】図1は本発明の一実施形態による商品情報提示システムの全体構成を示すブロック図、図2は表示用の入出力デバイスとして使用可能な各種機器の例を説明する図、図3はデータ構成を説明する図、図4は本発明の一実施形態による商品情報提示システムの操作手順を説明するフローチャート、図5～図7は操作の途中での表示画面の例を示す図である。図1、図2において、

11は販売店であるスーパー、12はメーカーのホームページ、13はサービスプロバイダ、14は公衆回線網、15は顧客住宅、16はパソコン、17はプリンタ、18はモデム、19はマウス、20はモデム付きゲーム機、21はパッド、22はTV、23はリモコン、25は双方向CATV用セットアップボックス(CATVSTV)である。

【0013】本発明の一実施形態による商品情報提示システムは、図1に示すように、モデム18及びプリンタを有する顧客住宅15内のパソコン16と、商品情報を提供するサービスプロバイダ13と、商品の詳細な情報を提供しているメーカーのホームページ12とが公衆回線網14に接続されて構成される。そして、サービスプロバイダ13には、商品の販売店としての複数のスーパー11から提供される商品の価格情報、在庫情報、イメージ情報等を含むデータベース、お買物計算ソフトが備えられる。

【0014】商品情報を知りたい顧客は、自宅内のパソコン16を使用して、サービスプロバイダ13に備えられるデータベースに公衆回線14を介してアクセスし、買物をする商品名、商店名等を入力して検索することにより、希望する商品情報を得ることができる。

【0015】利用者が検索したい店舗(商店名)は、予めサービスプロバイダが利用者の居住する自宅の住所から、その住所を中心とした一定の半径距離からその円内を利用地域として限定し、店舗名を自動的に登録して利用者に提供することも可能だが、利用者がこのサービスを受けるときに、初期設定として、サービスプロバイダに登録している全店舗名から毎回検索したい店舗名を選択しておき、サービスプロバイダに登録しておくことも可能である。

【0016】前述では、パソコンを使用してサービスプロバイダが持つデータベースを検索するとしたが、検索のための使用機器としては、図2(a)～図2(c)に示すように、マウス19、図示しないキーボード等を入力装置として備えるモデム内蔵のパソコン16、操作手段としてパッド21が接続されたモデム付きゲーム機20とこれに接続されたTV22、リモコン23により操作されるパソコン機能を持つモデム内蔵のTV22等であってよい。また、図2(d)に示すように、リモコン23により操作される双方向CATVSTB24を有するTV22であってよい。この場合、図示しないが、公衆回線網に代わってCATV網にTV23が接続され、サービスプロバイダ13としての機能をCATV放送局に持たせるようにすればよい。

【0017】前述において、使用機器にマウス19が備えられていれば、表示画面上に表示される選択ボタンの全ての選択は、マウス19によりクリックすることにより行うことができる。また、ゲーム機のパッド、リモコンを使用する場合、パッド、リモコンのアップダウンキ

ー、決定キー、入力切替キーを、それぞれ、各パートの中の移動、決定、パート間の移動のために使用することにより表示画面上に表示される選択ボタンの全ての選択、操作を行うことができる。

【0018】また、図示していないが、サービスプロバイダ13は、インターネット上にホームページを開いて、顧客にデータベースを使用させることもできる。

【0019】サービスプロバイダ13にスーパー11から提供される情報は、図3に示すように、各スーパー11に備えられる商品管理データベースからの商品毎の売価を示す価格データのリスト及び在庫データ、商品の写真等のイメージデータである。サービスプロバイダ13は、複数のスーパー11等から提供されたデータをデータベースとして保持管理し、データベースがアクセスされて検索された結果を、表示ソフトにより基本画面に合成して顧客に提供する。

【0020】前述において、利用者は、サービスプロバイダからの情報の全てを、公衆回線網またはCATV網といった通信回線を介して提供されるように説明したが、情報の一部を光ディスクのような他の大容量記憶媒体に置き換えて利用することも可能である。例えば、入出力デバイスとして使用可能な機器は、図2(a)、(b)に示すようなCD-ROMデバイスを利用できるものであり、これらの機器に対しては、CD-ROMに情報を記憶させて、サービスプロバイダが利用者に配布するようにする。CD-ROMデバイスが内蔵されていない機器の場合、CD-ROMデバイスを接続して利用すればよい。

【0021】また、このとき、CD-ROMには、データ量の多い、しかも刻々と変化することのないデータとして、基本画面の画面イメージデータや商品の写真等のイメージデータ等の情報を記憶させておく。これにより、利用者は、写真イメージ等のデータ量の多いデータを通信回線を介して受け取る必要がなくなるので、サービスプロバイダとのデータ授受をスムーズに行うことができ、通信回線網とのデータ転送速度が遅い場合に有効である。また、通信回線の使用時間を短縮することができるので、回線の混雑を緩和し、回線使用料も節約することができる。

【0022】そして、サービスプロバイダは、媒体の配布を、新しく取り扱う商品が増えることを考慮して、定期的に配布するようにすればよい。ここでは、CD-ROMを例に説明したが、メモリーカードやDVD(デジタルビデオディスク)、MO(光磁気ディスク)といった大容量記憶媒体で配布してもよく、また、商品の写真等のイメージデータ等の情報を事前に利用者が利用している端末の記録可能な2次媒体(ハードディスクやDVD、MOなど)にダウンロードしておいて利用することもできる。この場合、データのダウンロードに時間がかかるが、1度ダウンロードしておけば、サービス利用時

のデータ授受をスムーズに行うことができるだけでなく、サービスプロバイダは記憶媒体を配布する必要もない。そしてデータに変更があった場合、変更箇所のデータだけをダウンロードしなおせばよい。

【0023】次に、図4～図6を参照して本発明の一実施形態の操作手順と表示画面の例とを説明する。

【0024】(1) 商品情報を知りたい顧客は、自宅内のパソコン16を使用して、サービスプロバイダ13に備えられるデータベースに公衆回線14を介してアクセスし、あるいは、インターネット上に開かれているサービスプロバイダ13のホームページの商品情報提示のためのデータベースにアクセスする。これにより、例えば、図5(a)に示すように、「SHOPPING NAVI」等のタイトルと探し方を選択するためのボタンとが表示された初期メニュー画面が表示される(ステップ401)。

【0025】(2) 表示された探し方を選択するためのボタンの店舗選択のボタンをマウス等により指示することにより、図5(b)に示すように、このデータベースに商品データを提供している販売店であるスーパー等の店名とこれらの店の位置を示す地図とが表示される(ステップ402、403)。

【0026】(3) 顧客が買物をしたい店名を指示すると、その店で提供されている商品の写真等のイメージと価格とが図5(c)に示すように複数商品についてチラシのように表示される。このチラシの画像は、あたかも、紙にプリントされたように紙のエッジが裁断されているように、また、その隅がまぐれて表示される。このまぐれは、次のチラシの画像があることを示しており、この部分を指示することにより、ページをめくるように次々とチラシの内容が変わってその店で販売している商品で情報提供されている全ての商品についての表示が行われる(ステップ404)。

【0027】(4) ステップ404で多くの商品を見ている途中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図5(d)に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる(ステップ405)。

【0028】(5) ステップ405の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図5(e)に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、順にチラシの頁をめくってステップ404からの操作を繰り返す(ステップ406、407)。

【0029】(6) ステップ402で、表示された探し方を選択するためのボタンの中の商品選択のボタンをマウス等により指示すると、図5(f)に示すように、こ

のデータベースに登録されている商品ジャンル名が表示され、その1つを指示(図示例では食料品を指示している)すると、図5(g)に示すように、そのジャンルの小項目名が表示される(ステップ408、409)。

【0030】(7) ステップ409でそのジャンルの小項目名の1つ、例えば、果物を指示すると、提供されている果物の写真等のイメージ、価格及び販売している店名が図5(h)に示すように複数商品について、前述と同様なチラシにより表示される。このチラシは、画面内に表示されるチラシを示している頁の下隅のまぐれた部分を指示することにより、ページをめくるように次々と変わって販売している果物の全てについての表示が行われる(ステップ410)。

【0031】(8) ステップ410で多くの商品を見ている途中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図6(a)に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる(ステップ411)。

【0032】(9) ステップ411の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図6(b)に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、順にチラシの頁をめくってステップ410からの操作を繰り返す(ステップ412、413)。

【0033】(10) ステップ402で、表示された探し方を選択するためのボタンの中の「特売品選択」のボタンをマウス等により指示すると、画面例を示していないが、特売品を店舗名から探すか商品から探すかを選択するためのサブメニュー画面が表示される(ステップ414)。

【0034】(11) ステップ414で店舗名から探すとして「店舗選択」のボタンを指示すると、図6(c)に示すように、このデータベースに商品データを提供している販売店であるスーパー等の店名が表示される(ステップ415、416)。

【0035】(12) 顧客が買物をしたい店名を指示すると、その店で特売品として提供している日替りの限定商品のリストが図6(d)に示すように表示される。このリストの日付けを指示することにより、その日の特売品のチラシが写真等のイメージと価格情報とにより、図6(e)に示すように表示される。多くの商品が特売として販売されている場合、画面内に表示されるチラシを示している頁のまぐれを表示している下隅を指示することにより、ページをめくるように次々と変わってその店で販売している商品で情報提供されている全ての商品についての表示が行われる(ステップ417、418)。

【0036】(13) ステップ418で商品を見ている途

中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図6(f)に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる(ステップ419)。

【0037】(14) ステップ419の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図6(g)に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、ステップ418からの操作を繰り返す(ステップ420、421)。

【0038】(15) ステップ415で商品から探すとして「商品選択」のボタンを指示すると、画面例を示していないが、特売品に関する商品ジャンルがステップ408の場合と同様に表示され、その1つを選択すれば、ステップ409の場合と同様にそのジャンルの小項目が表示される(ステップ422、423)。

【0039】(16) その後、ステップ410~413の場合と同様な画面が表示されるので、これにより、商品から特売品の買物の候補を選択していく(ステップ424~427)。

【0040】(17) ステップ407、413、421、427で次の商品の選択を行わない場合、別の方法で商品を探すことにするか否かが表示画面により問い合わせされる。ここで、別の方法で商品を探すことを選択すると、ステップ401の初期メニュー画面に戻って、ステップ401からの操作を再度行うことができる(ステップ428)。

【0041】(18) ステップ428で購入したい商品を探さないことを選択すると、これまでの操作で候補とした商品のリストを表示するか否かが表示画面により問い合わせされる。ここで、リストの表示を行わないことを選択すると、ステップ401の初期メニュー画面に戻る否かが表示画面により問い合わせされる。戻ることを選択すると、ステップ401からの操作を再度行うことができる(ステップ429、430)。(19) ステップ429でリストの表示を行うことを選択すると、図6(h)に示すように、前述までの操作で候補として上げておいた商品と、その商品の購入店、価格とがリストに表示され、消費税を含む合計額が計算されて表示される(ステップ431)。

【0042】(20) 顧客は、このリストの商品、総額を見て削除すべき商品があるか否かを判断し不要なものがあれば、リスト上のその商品の欄を指示して「削除」のボタンを指示すると、その商品がリストから削除されて新たなリストが作成され総額が再計算されて表示される。その後、「プリント」のボタンを指示すれば、リストがプリントアウトされる。このリストは、買物に出か

けるときに持って行くことにより、店を回る順序等の買物を効率的に行うための参考とされる(ステップ432、433)。

【0043】前述の図6(h)に示したリストの例は、商品と、その商品の購入店、価格とを1つのリスト内に収納しているが、購入店毎にリストを作成するようにしてもよく、この場合、各店毎の支払額が提示できることになる。また、リスト内の商品の詳細情報をもう1度見たい場合、リスト上のその商品の欄を指示してマウスによりダブルクリックを行えばよいようにすることができる。

【0044】前述した本発明の一実施形態は、買物に出かける前にデータベースを使用して買物のリストを作成し、その後の買物を効率的に行うことを可能にするものであるとして説明したが、本発明は、通信販売等のために適用することもできる。

【0045】次に、本発明を通信販売に適用した場合の操作と表示画面の例について説明する。

【0046】本発明を通信販売に適用する場合、前述した表示されるチラシ上の通販可能な商品に「通販可能」のボタンを表示しておく。そして、例えば、前述したステップ418で、図7(a)に示すように、特売品のチラシのテレビと電話機とに通販可能のボタンが表示される。ここで、テレビの「通販可能」のボタンを指示すると、ステップ419の場合と同様に、その商品の詳細情報が表示される。

【0047】この詳細情報を見て購入することとして「購入」のボタンを指示すると、図7(b)に示すように、税、配達料金込の価格、複数の配達可能日及び支払方法を選択するボタンが表示される。そして、希望する配達希望日と支払方法とのボタンを選択指示し、支払のためのクレジット情報を入力すると、確認のための画像が図7(c)に示すように表示されるので、配達日と支払方法とを確認して、「はい」のボタンを指示する。

【0048】この情報は、データベースを管理しているサービスプロバイダ13からその商品を販売しているスーパー等に公衆回線網を介して報告される。報告を受けたスーパーは、支払方法で指定されたクレジット会社との間で支払の決済を行うと共に、指定された日に商品を顧客に配送する。

【0049】本発明の実施形態では、購入したい商品の売場の詳細を表示するようにすることも可能である。この場合、サービスプロバイダは、販売店であるスーパー等から売場のレイアウト情報を固定情報として提供してもらい、また、各商品の存在するレイアウト上の位置データを商品データと共に受けて、これらをデータベース上に管理する。これにより、顧客の要求により商品の位置を売場レイアウト上に表示することができる。

【0050】この場合、例えば、前述のステップ431の購入しようとしている商品のリスト表示画面に「売場

10

20

30

40

50

マップ」のボタンを表示させ、リスト上の商品と売場マップのボタンとを指示することにより、図7(d)に示すように、売場のマップとその商品がある場所とを表示させるようにすればよい。そして、この表示画面に表示されている「プリント」のボタンを指示すれば、売場のマップをプリントアウトすることができる。

【0051】前述した本発明の実施形態は、商品を探す指標として、販売店、商品ジャンル、特売品を使用して、これらから階層的に購入する商品を探すとして説明したが、本発明は、商品名をダイレクトに入力して、その商品を扱っている各販売店を検索し、さらに、その商品を最も安く販売している店を選択するようにすることもできる。

【0052】この場合、例えば、前述したステップ408における商品ジャンルを選択する図6(f)に示す表示画面内の「商品ジャンル選択」のボタンの中に、「商品名入力」のボタンを設け、このボタンが選択された場合、キーボードあるいは表示画面上に表示されるキーボードから商品名を入力させ、入力された商品の詳細情報を表示してその確認を行わせ、確認がOKであれば、各販売店におけるその商品の価格をチラシ上に表示する。この場合、その商品を特に安く提供している販売店のものについて安売り店強調枠を表示するようにして、利用者に対して注意を喚起することができる。また、価格の安い順に表示するようにしてもよい。なお、表示画面上に表示するキーボードは、例えば、図7(e)に示すようなものでもよく、このようにキーの配置を五十音配列とすることにより、誰にでも容易に商品名を入力することができる。もちろん、JIS配列のキーボードを表示するようにしてもよい。

【0053】前述では、操作を行う機器として、パソコン、TV等の家庭内に設置された機器を使用するとして説明したが、操作を行う機器として、PDA(パーソナル・デジタル・アシスタント)等の携帯情報端末を使用することもできる。この場合、携帯情報端末に無線通信モデムを内蔵させ、携帯電話、PHS(パーソナル・ハンディホン・システム)等と組み合わせて使用すれば、前述の場合と同様に、屋外においても前述の場合と同様に商品情報を得ることができる。また、GPS(グローバル・ポジショニング・システム)等の位置検索機能と組み合わせれば、店までの案内、売場までの行き方をも知ることができる。

【0054】また、前述の携帯情報端末を利用した場合、利用者は、家庭で通常サービスプロバイダに登録しておく検索対象の販売店に限らず、出先の地域の販売店及び商品情報にアクセスすることもできる。この場合、携帯情報端末が内蔵し、あるいは携帯情報端末に接続さ

れる無線通信モデムは、出先の最寄りの無線基地局と通信することになる。サービスプロバイダは、この無線基地局の位置情報等から、利用者が現在居るエリアを識別し、そのエリア内の販売店を検索できるように情報を提示する。

【0055】さらに、本発明は、前述において、商品の詳細情報が表示されている画面の中の商品について、そのメーカーがさらに詳細な商品情報等を提供するホームページ等を有している場合、その画面内にホームページを見るためのボタンを表示しておき、利用者がこのボタンを選択したとき、メーカーのホームページにアクセスして、より詳細な商品情報、関連する他の商品の情報を提示するようにすることができる。

【0056】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、ネットワークを介して、インタラクティブな操作で、ユーザが購入したい商品の詳細情報、その商品がどこで安く手に入れることができるかを検索可能としているので、販売店毎の品物の比較、価格の比較を容易に行うことができ、買物の支援を図るために使用して好適である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態による商品情報提示システムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】表示用の入出力デバイスとして使用可能な各種機器の例を説明する図である。

【図3】データ構成を説明する図である。

【図4】本発明の一実施形態による商品情報提示システムの操作手順を説明するフローチャートである。

【図5】操作の途中での表示画面の例を示す図である。

【図6】操作の途中での表示画面の例を示す図である。

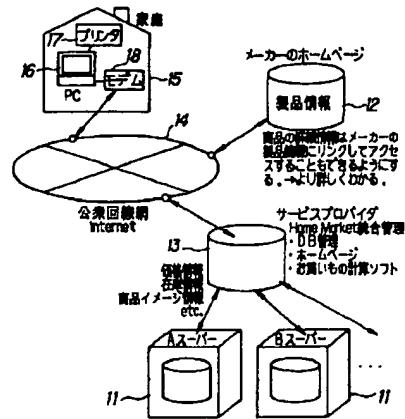
【図7】操作の途中での表示画面の例を示す図である。

【符号の説明】

- 11 販売店であるスーパー
- 12 メーカーのホームページ
- 13 サービスプロバイダ
- 14 公衆回線網
- 15 顧客住宅
- 16 パソコン
- 17 プリンタ
- 18 モデム
- 19 マウス
- 20 モデム付きゲーム機
- 21 パッド
- 22 TV
- 23 リモコン
- 24 双方向CATVセットトップボックス(CATVSTV)

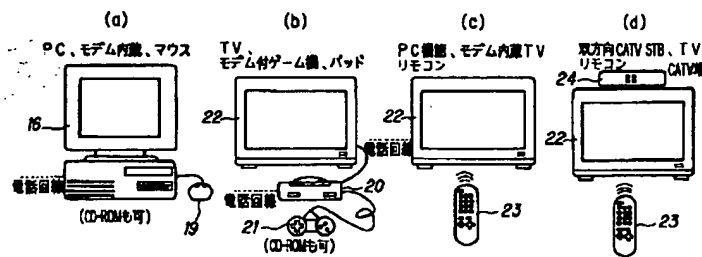
【図1】

【図1】

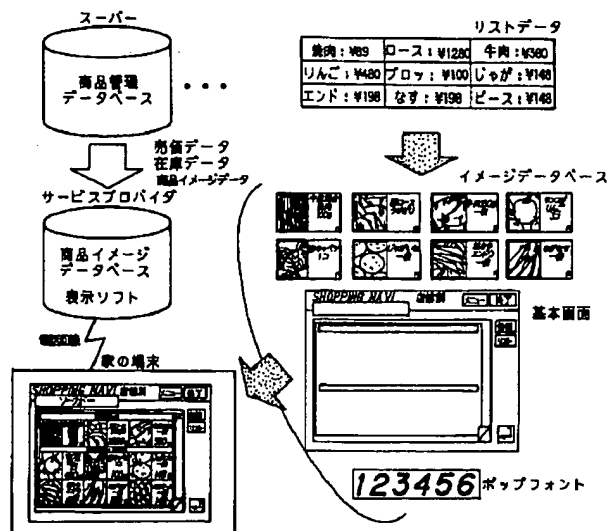


【図2】

【図2】



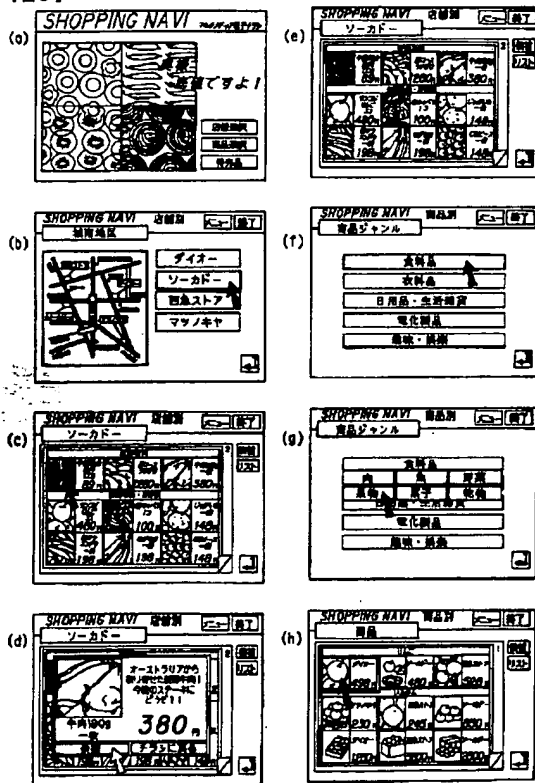
【図3】



【図3】

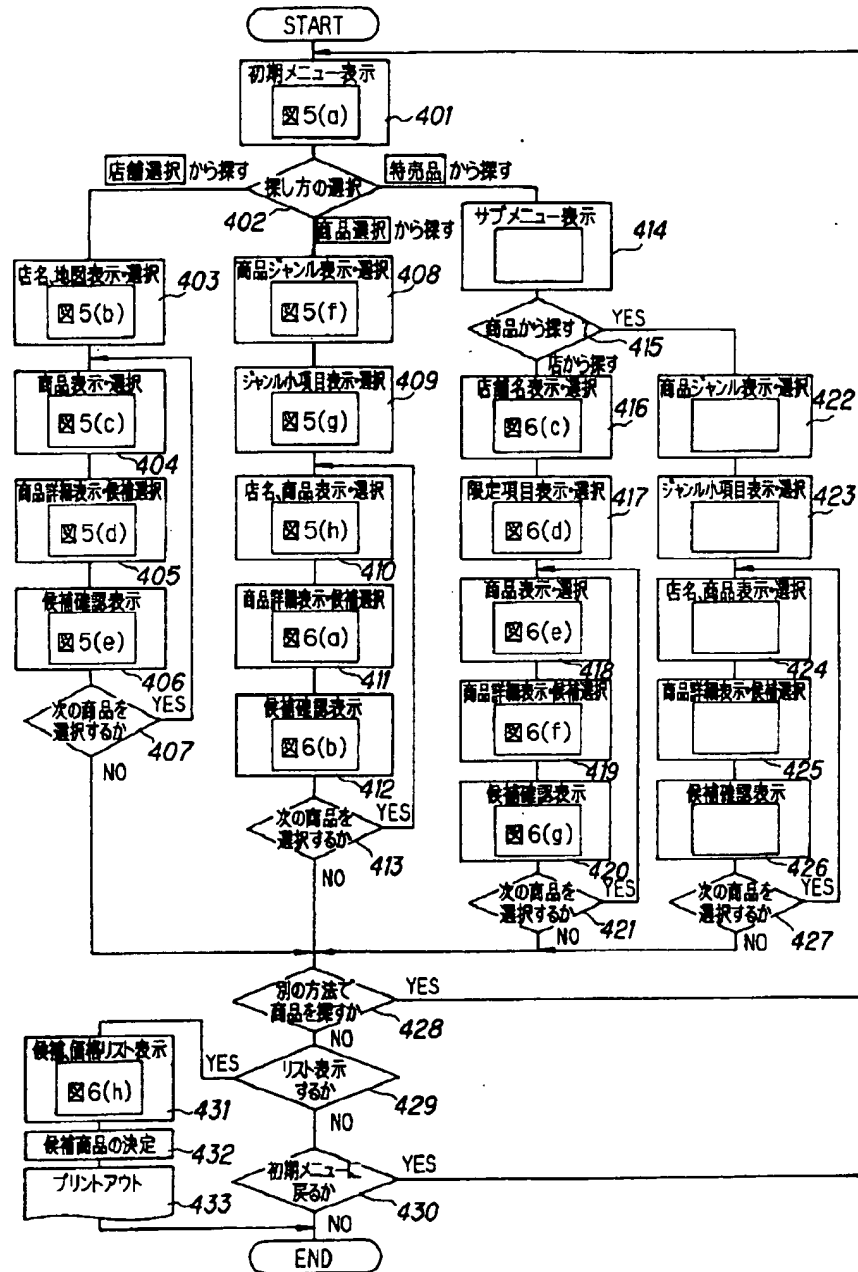
【図5】

【図5】



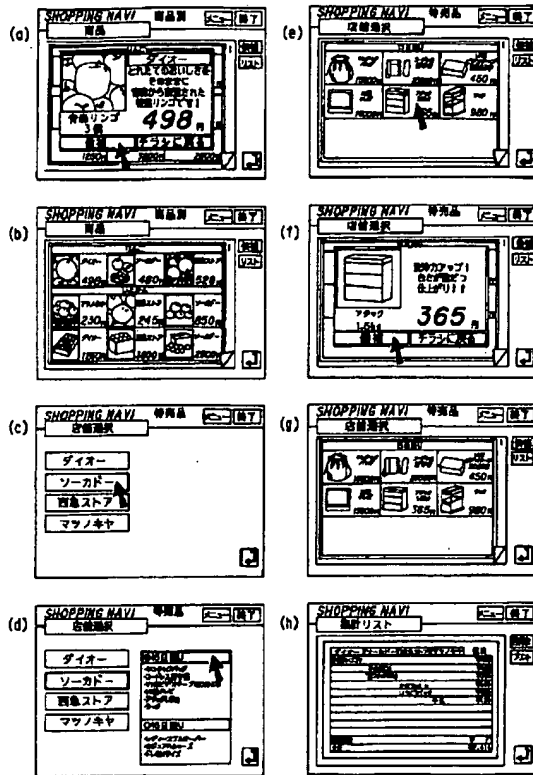
【図4】

【図4】



【図6】

【図6】



【図7】

【図7】

